

90°散乱光測定方式

# SS・濁度センサー SSTR-5Z

## 持ち運びができるポータブルタイプ



### 特徴

- ボタン1つで濁度・SSの切り替えが可能
- 高感度受光素子で高感度SS検出
- 近赤外LED、可視光カットフィルター付きで外部光や着色の影響をカット
- ノイズに強く安定した測定が可能
- 簡易ゼロ校正板(構成品)にて、純水なしでのゼロ校正が可能



校正板着脱状態



ゼロ校正状態  
(校正板セット)

### 仕様

測定方式	90°散乱光測定方式	
測定項目	濁度、SS	
測定範囲	濁度	0～500度
	SS	0～500mg/L
表示分解能	濁度	0.1度(0.0～199.9の範囲)
		1度(200～500の範囲)
	SS	0.1mg/L(0.0～199.9の範囲)
		1mg/L(200～500の範囲)
精度(再現性)	±2%FS以内(一定条件で)	
SS換算機能	SS換算係数(y=a+bx)(x=濁度、y=SS)の設定が可能	
検出温度範囲	+5～+40℃	
周囲温度範囲	0～+40℃	
電源	単4乾電池×3本	
ケーブル長さ	6m	
寸法	計器本体:W75×H38×D180mm	
	検出器:φ40×250mm	
重量	計器本体:約290g	
	検出器:約800g(ケーブル含まず)	

※SSはおお客様の環境に合わせて校正を実施してください。

### SSの手分析測定方法 —ガラスファイバー濾紙法—

- ① 検水を吸引濾過  
(濾過器に濾紙をセットして)
- ② 濾紙乾燥(105℃ 2時間)
- ③ 放冷約30分(デシケーターで)
- ④ 計算

計算式:SS(mg/L)=b-a×1000/検水量(mL)

b=乾燥後の濾紙の重量

a=乾燥前の濾紙の重量

※SSの手分析法の作業は約3時間程の時間を要します。